

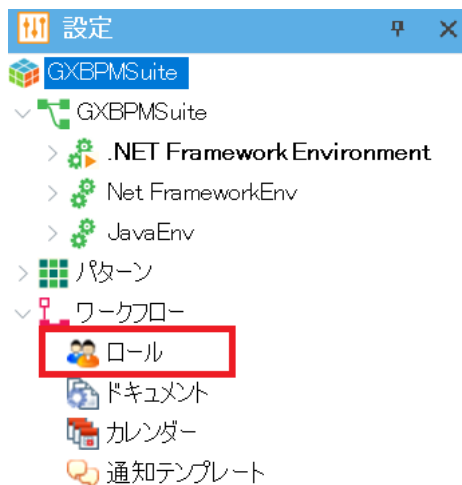
ユーザーとロール

これまで、プロセスダイアグラムをモデル化し、ダイアグラム内の要素に GeneXus オブジェクトを関連付け、それらのプロセスを実行してきました。しかし、すべてのテストは管理者ユーザーで行いました。これは、変更を加えるたびにプロトタイプを作成する簡単な方法です。

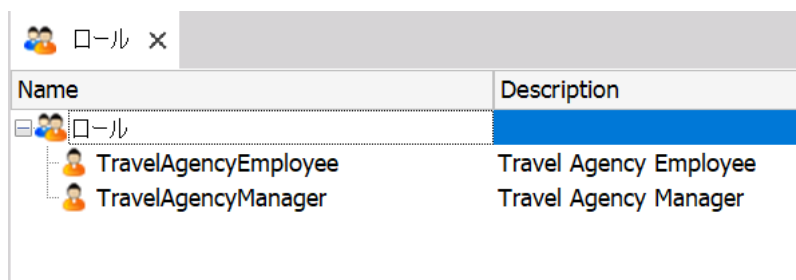
テスト段階に複数の参加者を含める場合は、ロールとユーザーを定義し、各タスクを実行するロールにユーザーを割り当てる必要があります。

ビジネスプロセスダイアグラムでは、タスクへのアクセスを管理するために、モデルの一部となる特定のロールを定義する必要があります。

これらのロールは KB レベルで定義されます。これを行うには、「設定」ウィンドウに移動し、「ワークフロー」の、「ロール」をダブルクリックする必要があります。



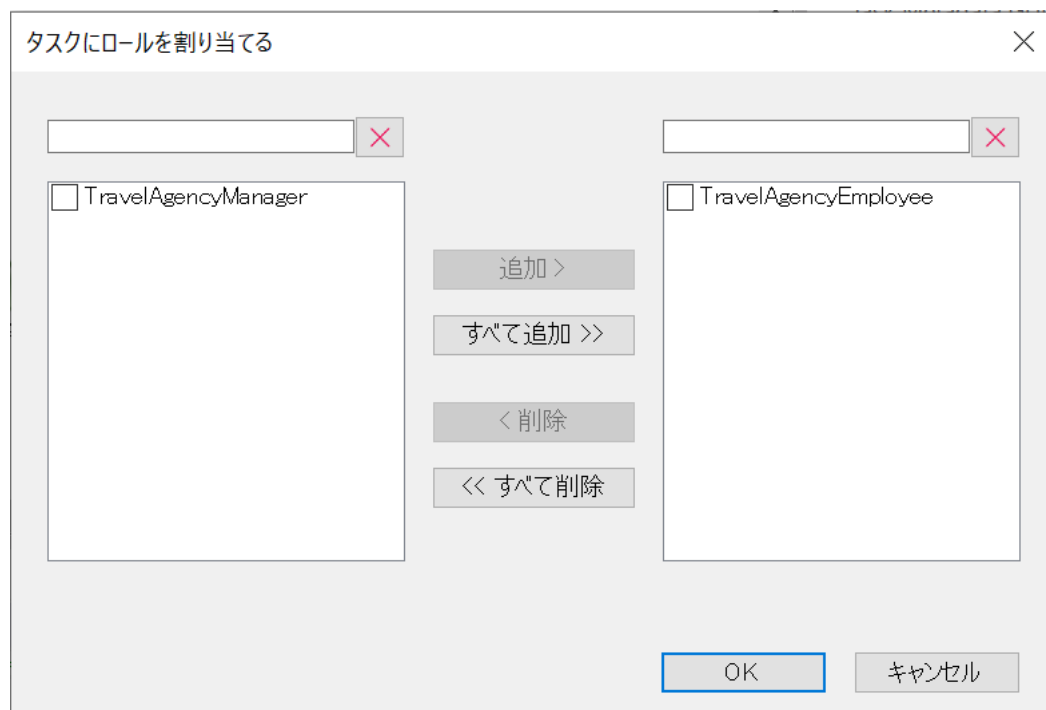
モデルに追加したいロールを入力できるウィンドウが開きます。「TravelAgencyEmployee」ロールと「TravelAgencyManager」ロールの 2 つのロールを定義します。



ロールを定義したら、各タスクに対して、どのロールがそのタスクを実行できるかを割り当てる必要があります。

そのためには、「FlightTicketReservation」ダイアグラムに移動し、「TicketReservation」タスクを選択して、「Roles」プロパティをクリックします。

先ほど定義したロールを含むダイアログボックスが開き、タスクに割り当てることができます。



「TravelAgencyEmployee」ロールを選択し、予約の入力を担当する従業員となるように追加を押します。顧客に承認を通知するタスクでも同じ操作を行います。

次に、「ValidateReservation」ダイアグラムに移動し、同様に「TravelAgencyEmployee」ロールを「ContactAirlines」、「Add customer information required for travelling」、「Check reservation documents」のタスクに割り当て操作をします。

同じ「ValidateReservation」ダイアグラムにて、「TravelAgencyManager」ロールを「EvaluateCustomer」と「Authorize reservation - Customer Care Manager」のタスクに割り当てます。これは、顧客を評価して予約を承認できるのは1人のマネージャーユーザーだけであるためです。

タスクにロールを割り当てる

☐ TravelAgencyEmployee

追加 >

すべて追加 >>

< 削除

<< すべて削除

☐ TravelAgencyManager

OK

キャンセル

タスクのロールを定義することに加えて、各プロセスを実行できるユーザーを決定するプロセスのロールも定義できます。

「FlightTicketReservation」プロセスの実行を許可されたロールを定義するには、ダイアグラムに移動して開始イベントの「Roles」プロパティをクリックします。

「TravelAgencyEmployee」ロールを割り当てて、このロールを持つユーザーのみが予約プロセスを開始できるようにします。次に「OK」を押します。

タスクにロールを割り当てる

☐ TravelAgencyManager

追加 >

すべて追加 >>

< 削除

<< すべて削除

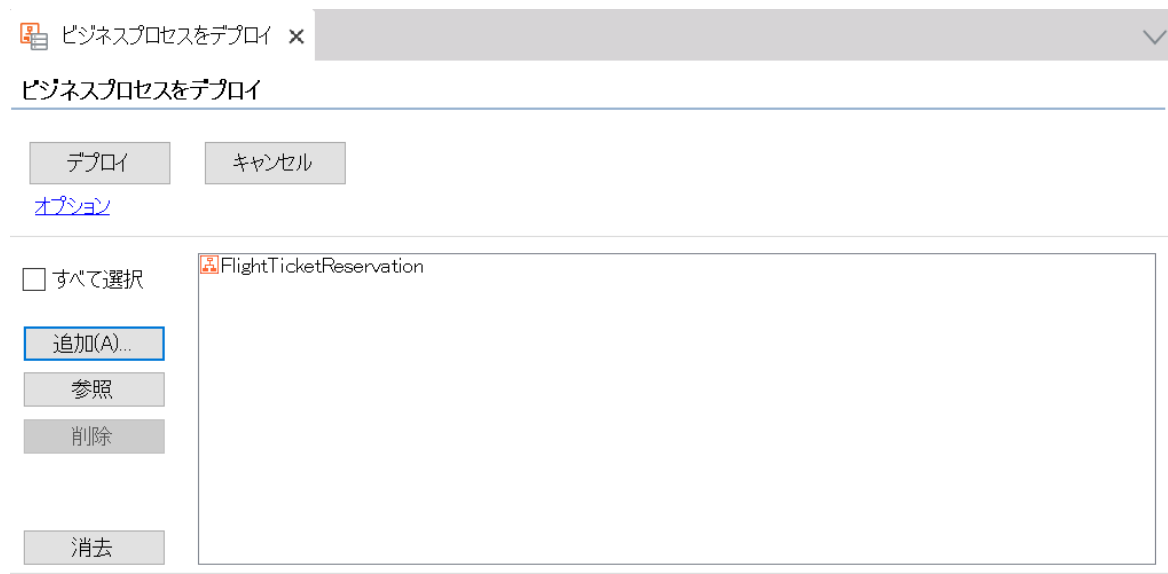
☐ TravelAgencyEmployee

OK

キャンセル

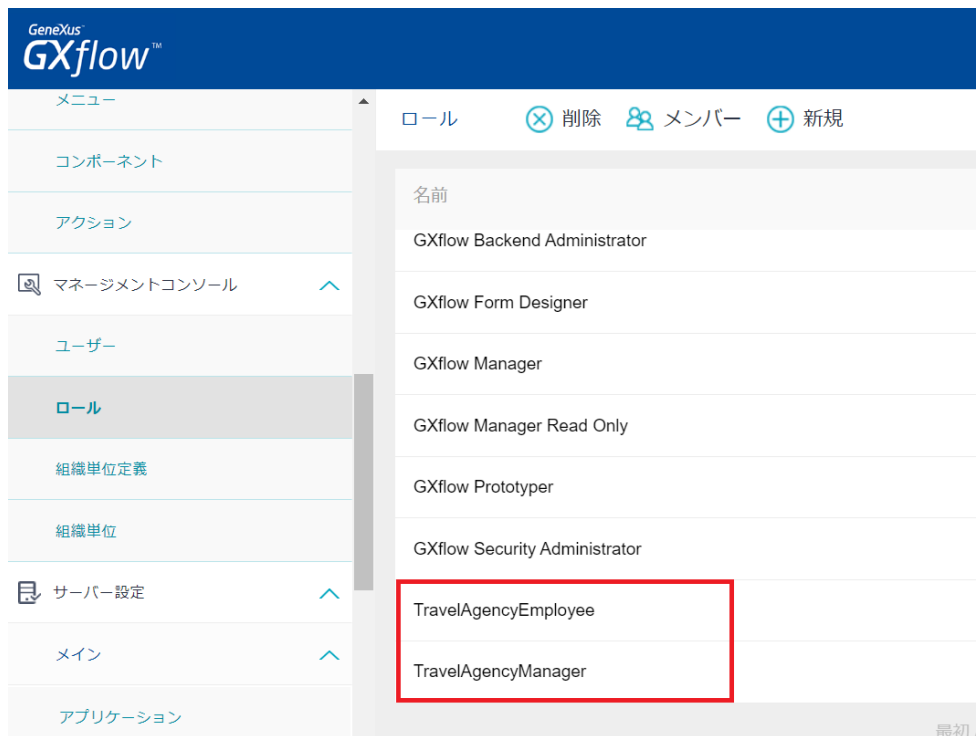
モデルレベルでロールを定義したら、ユーザーを定義し、Gxflow クライアントでロールを割り当てる必要があります。

しかし、その前に、モデルレベルで行った定義の変更を反映させる必要があります。そのためには、IDE のメニューバーより、「ツール」→「ワークフロー」→「ビジネスプロセスをデプロイ」の順に進み、追加をクリックして、「FlightTicketReservation」ダイアグラムを選択し、デプロイを押します。



Gxflow クライアントにアクセスするため、実行します。管理者ユーザーでログオンし、管理コンソールに移動して、ロールをクリックします。

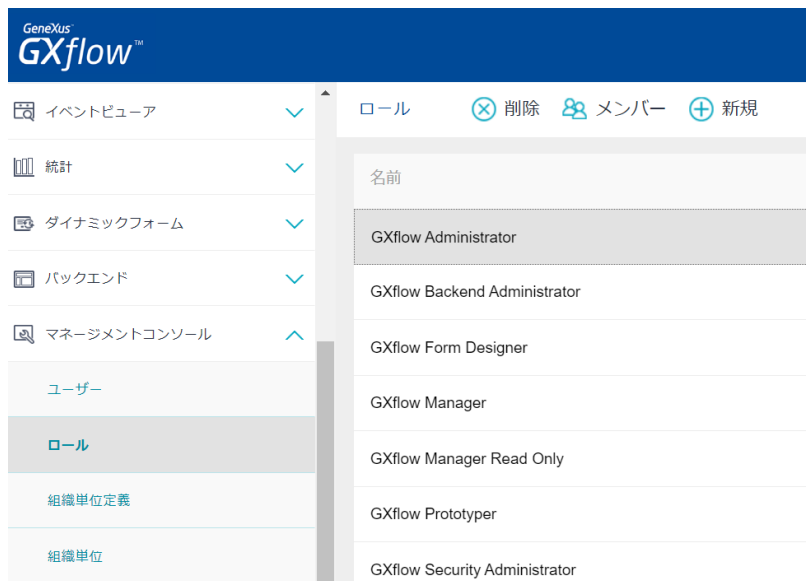
GeneXus の影響を受け「TravelAgencyEmployee」と「TravelAgencyManager」のロールが作成されていることがわかります。



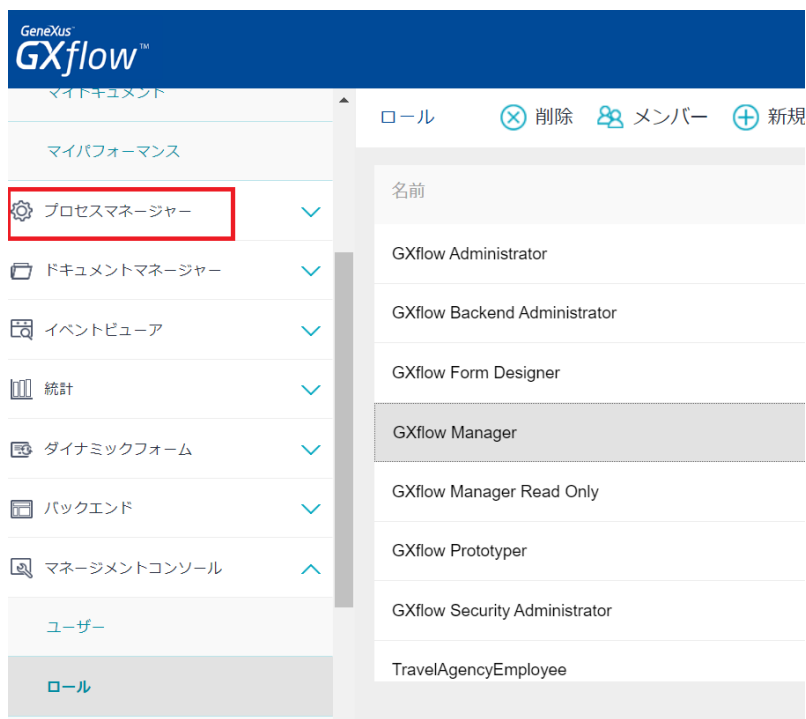
すでに作成された他の特別なロールも表示します。

これらのロールにより、Gxflow クライアントで管理タスクを実行するためのプロセスと権限に関連する許可をユーザーに割り当てることができます。

「Administrator」ロールでは、ユーザーは Gxflow クライアントのすべてのアプリケーションですべてのアクションを実行できます。

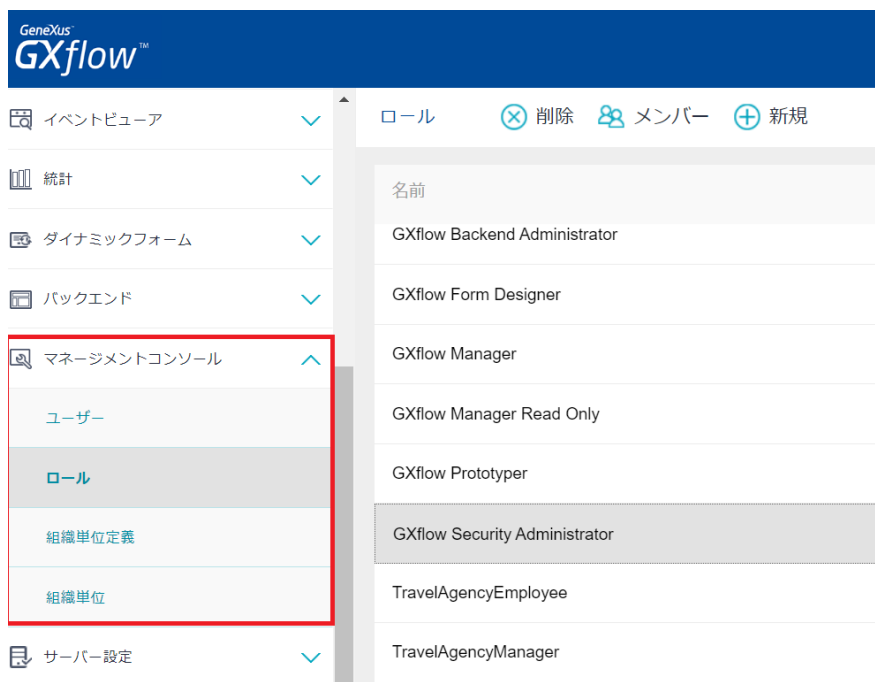


「Manager」ロールでは、ユーザーはプロセスマネージャーにアクセスし、プロセスインスタンスに関連するアクションを実行できます。



「Manager Read Only」ロールは、マネージャーと同じものを表示できますが、アクションを実行することはできません。

「Security Administrator」は管理コンソールの表示と操作のみが許可されます。



「Prototyper」は、割り当てられた役割に関係なくすべてのタスクの実行を可能にし、開発作業を容易にします。

それでは、ユーザーを定義しましょう。

マネジメントコンソールで「ユーザー」をクリックすると、システムのユーザーを管理するための画面が開きます。これまでに定義されている唯一のユーザーは、ワークフロー エンジンによってデフォルトで作成される管理者ユーザー「WFADMINISTRATOR」です。



新しいユーザーを作成するには、「新規」を押します。ここではユーザー名:「ASMITH」、名前:「ANA SMITH」、メールアドレス:「asmith@gmail.com」、パスワード:「123456」を入力します。

新規 ユーザー

×

一般

対応の可否

証明書

ユーザー

ASMITH

名前

ANA SMITH

メール

asmith@gmail.com

パスワード

.....

確認用パスワード

.....

次回ログイン時にパスワードを変更

☒有効

☐無効

OK

キャンセル

確認用パスワードも入力し、次回ログイン時にパスワードを変更する必要を有効にします。「OK」を押すと、ユーザーが作成され、ユーザーウィンドウに表示されます。

ユーザー

+

新規

◆

ロール

△

組織単位

他のアクション ▾

<div><div>Id</div></div>	名前
<div><div>ASMITH</div></div>	ANA SMITH
<div><div>WFADMINISTRATOR</div></div>	Workflow Administrator

次に、「Peter Kent」という名前で別のユーザーを作成します。すべての情報を入力し、パスワードも「123456」にして、OKをクリックします。

新規 ユーザー ×

一般

対応の可否

証明書

ユーザー

PKENT

名前

Peter Kent

メール

pkent@gmail.com

パスワード

確認用パスワード

次回ログイン時にパスワードを変更

☒有効

☐無効

OK

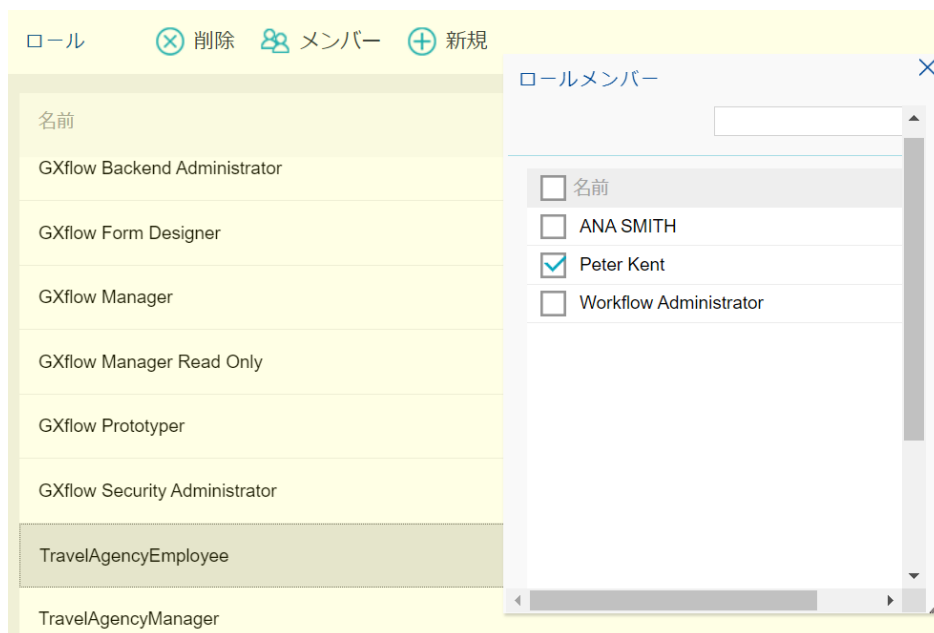
キャンセル

ユーザー「PKENT」が作成されたことを確認します。

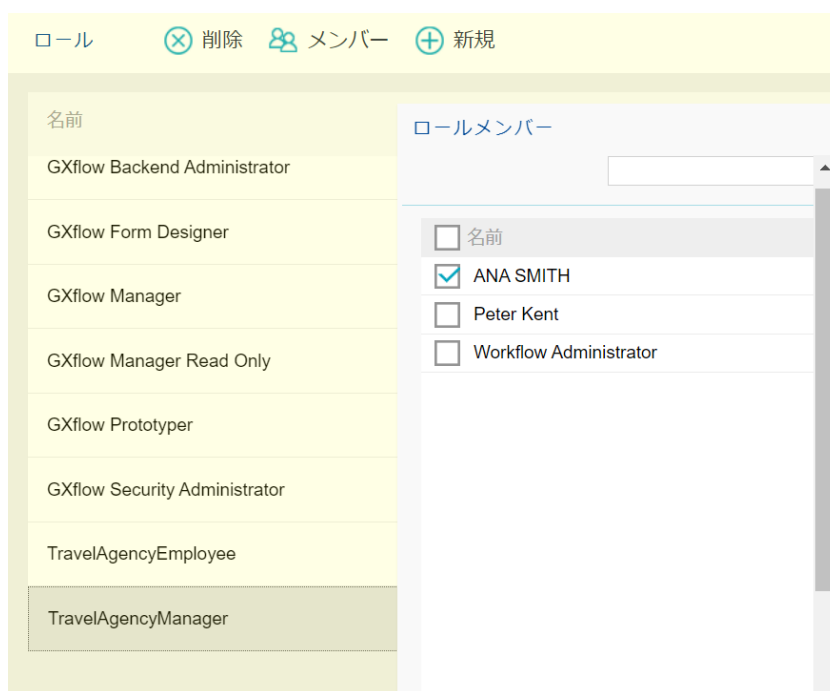
<div><div><div></div><div></div></div> Id</div>		名前
<div><div><div></div><div></div></div> ASMITH</div>		ANA SMITH
<div><div><div></div><div></div></div> PKENT</div>		Peter Kent
<div><div><div></div><div></div></div> WFADMINISTRATOR</div>		Workflow Administrator

次に、ロールに移動して、上で作成したユーザーに定義したロールを割り当てます。

まず、「TravelAgencyEmployee」ロールを選択して「メンバー」ボタンを押し、ダイアログボックスでユーザー「Peter Kent」を選択して「OK」を押します。



また、「TravelAgencyManager」ロールでユーザー「Anna Smith」を選択し、「OK」を押します。



作成したユーザーを使用して、管理者ユーザーでログインする代わりに、Gxflow クライアントにログインできます。

これを行うには、まずワークフローの実行モードを変更する必要があります。そのため、GeneXus に戻ります。